京都府教育委員会認定フリースクール

聖母の小さな学校

2021 年

12月23日発行

2 学期終業式号 第 238 号

## 2 学期を終えるにあたり

冬木立の凛とした姿に心洗われるような感じのする季節です。平素は、聖母の小さな学校の教育に ご理解、ご協力いただき深く感謝いたします。

さて、本日23日、2学期の終業式をいたしました。コロナ禍の続く状況であっても、感染防止対策 を取りながら、ほぼ通常の教育活動ができたことをうれしく思います。この2学期は、スポーツフェス タ(10/9)をはじめ、生徒たちが日々の学びで得た力を確認することができる機会がたくさんありまし た。生徒たちは、自身の生活の確立、行動の広がり、考えやこころの深まりを目指して、自分が今でき ることを丁寧に実行してきました。「朝起きること」「家の手伝いをすること」「学校(聖母)の玄関ま で行く」「出席だけ記入して帰る」など、今日の自分の目標に誠実に取り組んでいました。その結果、 ある生徒は、「学校(聖母)に来ること」「宿題を忘れない」と学習の意欲につながる目標に発展しまし た。ゆっくりではあっても、自らのプロセスを歩んでいくと、崩れることのない進展を遂げます。表情 も安定してきました。作文にも、「人の目や人の声が気になる。自分が嫌われているように感じる。こ の事は前とあんまり変わってないけど、何かが違う」と、自分を見つめることが少しできるようになり ました。また、ある生徒は、「不登校という事実を認めたくない。友達には、弱っている自分を見せた くない。自分を否定してでも隠し通そうとする。苦しい。」と自分の事実に直面し、正直な自分になる ために今を生きる生徒等それぞれでした。その歩み方は、一人ひとり違いますが、自分自身のありのま まの姿に出会い、それを受け入れる自己との和解が根底になければ、先へ進まないでしょう。また、 新しく入学した生徒は、「(聖母に来て) 学校は怖いものという考えを変えた。なんとなく、あたたかい 気がした」と書いています。その感じたことを大切にして、日々の生活を整えたいと思います。また、 一度卒業したものの、聖母で培った「自分を知る力」「人と交わる力」をもう少し付けたいと、再入学 してきた生徒もいました。







12/15 体 育



12/22 クリスマス会

今学期も多くの先生方にお世話になりました。ありがとうございました。

## <今学期お世話になった先生方>

音楽(北浦 弘治 先生)体育(渡邊 弘 先生)華道(山中 知昌 先生)数学(江宮 文夫 先生・宮川 啓三 先生)校外学習(山下 正 先生・岩見 由美子 先生)

※ 3 学期始業式1月7日(金)9:30~11:00(11時下校)